

お鏡餅と花餅で迎春!



完成したばかりの作品を前に全員でパチリ。
今年1年が良い年でありますように。

お鏡餅をつくってお正月を迎えようとして、12月27日に一之宮公民館で「年末お鏡餅づくり会」が行われ、お鏡餅に加えて花餅もつくって、年

一之宮まち協だより

第20号
平成28年1月1日
一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会
高山市一之宮町3087
電話 53-2424

笑顔で新年を

未最後の日曜日を過ごしました。

まち協健康福祉部福祉委員会が開催したもので、子ども21人を含む親や福祉委員会のメンバー、それに長寿会の協力者ら40人が参加しました。子ども達は大人の手ほどきを受けながら、用意した5升の餅を、お鏡用や花餅用などに数回に分けて臼(うす)と杵(きね)でつきました。つき上がった餅は指導者の長寿会の会員らに教えてもらいながら、餅とり粉でくっつかないようにして丸めてお鏡をつくり、その後用意された台木の枝に、ちぎった餅を巻き付けて花餅を作りました。

粘りのある餅に苦戦しながら子ども達は楽しそうに作業しながら仕上げていきました。

最後に餅を雑煮やきな粉餅にして昼食をとり、つきたての餅をおいしそうに食べていました。

最近各家で餅をつく習慣も薄れお鏡餅もパックの既製品を購入する家が増える中、今回作った手づくりお鏡餅で正月を迎えるのもまた

格別ではないでしょう。



宮景

正月飾り展

毎年新年を迎えた1月には一之宮公民館で「正月飾り展」が開催されています。

十数年前から始まったこの展示には毎回町内の収集家からその年にふさわしい品々をお借りして展示しています。

今年は江戸期の作品を中心に14～15点を展示しています。



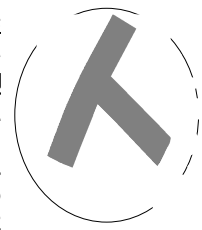
そのうち今年の干支の猿を描いた作品では、江戸末期の飛騨の画家萩原一山の描いた猿回しの掛軸と、同じく垣内右隣の猿の掛軸が展示してあります。

ほかに垣内雲嶺作の旭日の掛軸や彫刻では「玉乗りの親子獅子」などいずれも縁起物の品々が展示してあります。

ぜひ公民館まで足を運んで鑑賞してください。展示は1月中旬までの予定です。



正月を飾るにふさわしい品々を展示中



新葉の杉玉飾って新年を 民芸品として新たな魅力

黒洞 和喜夫さん
(本通中)

新年を迎えるにあたって、今月の「まちよな人」は、本通中地区の黒洞和喜夫さんです。昨年、同窓生と古希のお祝いをしたと言われましたが、まだ、そんなお年にはみえず、今も仕事に出かけ、その合間に、新春の造り酒屋には欠かせない杉玉を作成してみえます。

作業場に入ると杉の芳香がしてきました。昔は木工の仕事もされていたということで、電動ノコやチェーンソーなどいろいろな工具が整然と並べてあり、職人という感じの雰囲気があります。

杉玉を作り始めたのは、10年以上前になるそうで、きっかけは、飾っていた杉玉に魅せられたからだとか。今は、余り大きくない直径20cm位のものを作ってみえるそうです。杉玉は新酒ができる造り酒屋の軒



杉玉作りに精を出される黒洞さん

先に飾られますが、黒洞さんが作るのは民芸品としての作品です。

作業場には、昨年の杉玉がつり下げられていましたが、作成時の緑色がすっかり茶色に変わり、民芸品として味わいのある色になっていました。

杉玉を作る作業時期は昔ながらに新年に向けて、12月が最盛期だそうです。杉玉作りには、杉の新しい葉の確保から、丸くまとめるための芯作り、杉葉を詰めて、全体を均一球状に切っていくなど多くの作業があります。1日にできる数はせいぜい1個か2個ほど。

作業を始めた頃からいろいろ工夫し、杉葉を有効活用するようにしているそうですが、よい杉葉集めが難しいようです。近くの山ではなかなか手に入りにくくなり、遠方まででかけることもあります。

毎年、いろいろと工夫を重ねているそうですが、最新作は杉玉の上に庇(ひさし)をつけて雰囲気を出すようにしたもの。まさに手間をかけ、根気に作業をすすめられている「まちよな」姿に、新年への希望や夢を垣間見ることができました。

今年もこの紙面を通じて、地域で頑張ってみえる「まちよな人」を紹介していきたいと思えます。どうかよろしくお願ひします。(山腰)



一之宮クラブ頑張りました！

黒木 建治 さん(一之宮クラブ育成会代表 問坂下)

一之宮クラブはスポーツ少年団として活動している少年野球チームです。技術・体力向上はもちろん、野球を通して礼儀やチームワークの大切さ、そして自ら考え行動する能力を学んでいます。近年の少子化やスポーツの多様化により当クラブの部員数も減少傾向ですが、学年混成チームを編成して活動しています。

今年度の課題を“雪によるハンドの克服”と“打力の強化”と位置づけ、指導者の熱意のもと冬期より屋内の基礎トレーニングに取り組み、特に打撃練習に重点を置いた指導を受けました。

保護者には指導方針への理解と強力なサポートを頂き、さらには一之宮町の皆さまからもあたたかいご声援やご支援を賜りました。

それらにより、公式戦地区大会などにおいて4つの優勝を飾るとともに、公式戦岐阜県大会3つすべてに高山を代表して出場することができました。

私たち育成会も大会を重ねる度に、保護者の美声と太鼓によるプラスバンドの応援に磨きをかけ、チームと一体となって試合に臨んできました。

いま飛騨地区の野球は、地元高校の活躍や将来有望

選手の登場などで、今までにない盛り上りを見せています。そこに今年度の成績によって、一之宮クラブの子ども達の夢がより膨らむものと私たちは願っています。

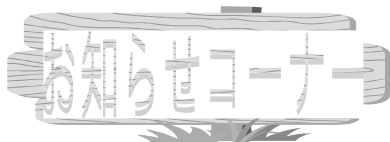


今年度の主な試合成績

- 高円宮賜杯第35回全日本学童マクドナルド杯
- 高山大会：優勝、岐阜県大会：第3位
- 第47回岐阜県学童軟式野球大会
- 高山大会：優勝、岐阜県大会：ベスト16
- 第24回飛騨少年野球大会(JA杯)：優勝
- 第14回白川病院旗学童軟式野球
- 高山大会：優勝、岐阜県大会：ベスト16
- 第14回積水ハウス旗ヒマラヤリーグ
- 予選リーグ優勝、決勝トーナメント：ベスト16



「僕たちの今年の成果です！」優勝旗や盾、賞状などを手に喜びいっぱいのチームのメンバー



消防出初式のご案内

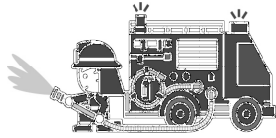
高山市消防団一之宮支団の消防出初式が次のように行われます。町民のみなさまもぜひご覧いただきますようお願いいたします。

日時：1月5日(火)

午前7時30分 サイレン吹鳴 午前8時00分～訓練

午前10時00分～出初式

場所：宮中学校グラウンド



除雪協力のお願い

火災等の有事に備え、各地域の市道・消火栓や防火水槽等の除雪について、班・町内周辺の方々のご協力をお願いします。



どんど焼きのお知らせ

日時：1月10日(日)午前9時30分～

場所：水無神社

同日の午前8時頃から子どもが各家庭を回って集めます。

しめ飾りや神符(おふだ)など焼却するものがありましたら用意しておいてください。

神事終了後甘酒がふるまわれますので、ぜひご参加ください。



改善箇所等の「情報提供」のお願い

平成28年度に向けた市道の修繕箇所等の情報提供を住民の方々から募集します。

普段気になっているところなど、市など行政に改善を要望したい事項を下記により班長まで伝えてください。

情報内容：対象箇所と現状の問題点

伝達方法：口頭あるいはメモ書き等で

時期：1月の班常会時かそれまでを目途に

お問い合わせはまち協事務局(53-2424)まで

ふれあいスキー募集

「しょうがい雪を楽しむ会」

ふれあいスキーボランティア募集(一之宮まち協後援)

この会は、障がいをお持ちの方と一緒に、チェアスキー、バイスキー、ショートスキー、アウトリガースキーなどを使って雪を楽しむ会です。(主催：認定NPO法人あんきや)

モンデウスで開催される「ふれあいスキー」に協力していただけるボランティアを募集します。

日時：2月7日(日)午前7時30分～午後4時

場所：モンデウス飛騨位山スノーパーク

内容：スキーと一緒に滑る、初心者につき添うなどのサポート、その他受付等

障がいをお持ちの方でスキーにチャレンジしてみたい方も歓迎します。

参加費：2,000円(リフト券や食事代等。ボランティアの方からもいただきます)

お申込み：1月15日(金)までにお電話・FAXで

お申込み・お問い合わせ

認定NPO法人あんきや：57-8180 57-8170(Fax)

高山市社会福祉協議会 35-0294

モンデウススペシャルホリデーのお知らせ

日時 1月17日(日)午前10時～午前中

会場 モンデウス飛騨位山スノーパーク

当日の1日リフト券購入者(先着800人)を対象に抽選で豪華賞品が当たります。

豚汁の振る舞いもあります。



図書館だより

明けましておめでとうございます。いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。新年は1月5日(火)より開館いたします。今年も一之宮分館をよろしく願います。

お知らせ

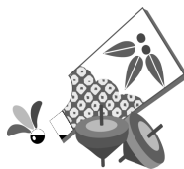
【予告】「一之宮分館」蔵書点検による休館のお知らせ

高山市図書館「一之宮分館」は2月16日(火)～19日(金)まで蔵書点検のため休館します。

おはなし会のご案内
1月16日(土)午前10時30分、スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

今月の特集

心にビタミンを
新しい年の初め。心が元気になる本をご紹介します。



冬の絵本
雪の季節は家の中で過ごす時間が増えます。外に出たくてうずうずしている子どもたちでもワクワクするような冒険が、おはなしの中にはあります。さあ、みんなでおはなしの世界へ。

公民館から

展示コーナー

正月飾り (1月中旬まで)

1月の公民館定休日

1(金)了3日(日)

12日(火) 25日(月)

1月の位山交流館定休日

1(金)了4日(月)

12日(火) 18日(月) 25日(月)

一之宮町の人口情勢

世帯数		815戸	
年齢	男性	女性	合計
0～14歳	183	155	338
15～64歳	701	721	1,422
65歳以上	339	463	802
合計	1,223	1,339	2,562

12月1日現在・単位：人 3

日	曜日	行事内容
23	土	まち協陽市視察受入れ
20	水	宮保育園スノークルージング(モンデウス)
18	月	町内会長会(公民館)
13	水	昭和歌謡講座(公民館)
12	火	チエアークササイズ(公民館)
10	日	小中学校三学期始業式
9	土	どんど焼き(水無神社)
7	木	サタデイサークル
5	火	結婚相談(交流館)
2	土	行政相談・心配ごと
1	日	消防出初式(宮中グラウンド)
2	土	行政相談・心配ごと
1	日	新成人を祝うつどい(公民館)

つばやき

年賀状のあるを3つ

以前は子供の写真のみの年賀状をもらって嬉しくなかったが、自分に子供ができたその親の気持ちは分かるようになった。関係が薄い人で年賀状のやり取りをやめたいが、中々やめられない。自分の子供の頃、宮の中なら郵便番号も住所も書かずに、ひらがなで名前を書いただけでちゃんと友達の家へ送ることができた。(注)郵便屋さんが大変なので良い子はちゃんと郵便番号も住所も書きましょう。(めがね)

編集後記

明けましておめでとうございます。旧年中は「まち協だより」をお読みいただき、またご協力いただき誠にありがとうございました。本年もよろしくお願致します。(山腰崇宣)

宮小でがりゅう発表会

宮小学校で12月5日「がりゅう発表会」を開催し、各学年による生活科や総合的な学習が保護者や地域の人に公開されました。

公開されたのは、お茶、大正琴、グラスアート、絵手紙、スポーツサークルの活動掲示を始め、各学年の発表です。

ふれあいサークルの1年生は「あきのおもちゃやさん」で木の葉を魚にみたくて、木を釣竿にするなど自然の素材で遊びを工夫していました。

6年生は地域の方から聞いた臥龍桜の歴史の話をよくまとめ、地域を守っていくこうとする意欲的な発表に、さすが6年生だと頼もしく感じました。その他、2年生から5年生生までテーマを決めて発表しました。(山腰)



自然にある素材を使って遊びを工夫

家庭訪問して火の元点検

高山市消防団一之宮支団と各町内会による「火の元点検」が12月6日実施され、消防団員や女性防



点検する消防団員

火クラブ員が各家庭を訪問して、消火器・火災警報器等の点検を行いました。

これによって、地域の実情を把握するとともに、日頃の防火意識を高めることができ、消防団と地域の連携の大切さが改めて認識されました。

これから火の取扱いが多くなりますので十分注意し、今一度火の元点検を心がけましょう。(牛丸)

女性委がタオルを寄付

まち協女性委員会では毎年町内からタオルを集め、デイサービスセンター一之宮(カロリア)に寄贈して役立ててもらおうという活動を行っています。

今年度も役員が各戸一軒一軒回収に廻って、200枚以上が集まりました。12月14日には、カロリアへ委員長の清水紀子さんが訪問しタオルを渡しました。

カロリアからは、大変重宝して



タオルを渡す清水委員長

いと感謝の言葉をいただきました。タオル提供者にこの場を借りてお礼申し上げます。(牛丸)

おはなし会で劇を披露



劇を演じるサンタと黒猫役児童

高山市図書館主催の「おはなし会スペシャル」が12月5日、一之宮公民館で開催され、約40人の親子が少し早いクリスマスを楽しみました。

これは、毎月第3土曜日に一之宮分館で行っている「おはなし会」のスペシャル版で、読み聞かせボランティア「お話玉手箱」の協力で「クリスマス」をテーマに行われました。

絵本・紙芝居の後に劇が披露され、サンタクロースと黒ねこに扮した児童が、物語のナレーションに合わせて劇を演じました。途中、サンタクロースが手品を披露する場面もあり、会場は歓声と笑いに包まれました。(野口)

昭和歌謡など講座開講

まち協文化教養委員会主催の生涯学習後期講座「チェアエクササイズ」と「昭和歌謡を歌おう」の2講座が開講しました。このうち「チェアエクササイズ」

は前期講座が好評だったことから、改めて受講者を募り、10人が参加して11月26日から3回コースで行われています。

「昭和歌謡を歌おう」は、昭和時代にはやった懐かしい名曲を、歌の上手下手にかかわらずみんなと一緒に歌って楽しいひと時を過ごそうと、中島ヨシハル氏を講師に4回コースで昨年に続いて企画されたものです。

11月30日に一之宮公民館で開催された講座には23人が参加し、「美しい十代」や「青い山脈」など、昭和の名曲十数曲をギター伴奏に合わせて歌いました。

講師の中島さんからは、曲にまつわるエピソードや当時の話も出て、参加者は歌を楽しむと同時に歌うことでよみがえる若かった時代のノスタルジーに浸りました。



ギター伴奏に合わせて歌う参加者

サンタが43人にプレゼント

クリスマスイブの12月24日の夜、サンタクロースが一之宮の子どもたちにプレゼントを渡しました。

「一之宮サンタクロース隊」を結成して毎年行っている行事で、今年度は24戸43人にプレゼントを配りました。

3人のサンタクロースが手分けして訪問し、「メリークリスマス」などと言って子どもにも直接プレゼントを渡すと、子どもは「ありがとう」と言いながら満面の笑みで受け取っていました。

年の暮れは暖冬で雪が見られないイブとなり、サンタは動きやすかったものの、少し物足りなさを感ずるクリスマスでした。



プレゼントをもらって喜ぶ子ども

宮小体育館下倉庫を整理 今後スペースを有効利用

合併前の村時代からの資材等が保管されていて、使用が制限されていた宮小学校体育館下の倉庫が12月15、16日に整理されました。

この日、支所職員やまち協関係者のほか、商工会青年部や宮小からも作業員が出て、確認の上搬出し、不用品については分別して廃棄処分しました。

今後、支所関係の資材保管などに有効利用される予定です。